

令和4年度 再評価調書

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業	ふりがな 地区・路線名	ほうざき 芳崎地区										
事業主体	徳島県	関係市町村	阿南市										
概要	<p>(事業目的) 本地区は、徳島県阿南市の北東部に位置し、那賀川流域の低平地に広がる農業地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。 地区内の農地の4割弱は、昭和52～56年に整備されているが、区画は10～20aと小さく、用水はパイプライン化されておらず、用排水路は老朽化が著しく水管理や維持管理に多大な労力を費やしており、営農に支障をきたしている。 また、残り6割強のほ場は、不整形で農道も狭小であることから、不効率な営農を余儀なくされている。 さらに、高齢化や担い手不足に伴い、農地の貸し付け要望の増加が見込まれるが、区画が小さく不整形、進入路が無い又は狭小、用排水路も未整備といった条件の悪い農地は、借り受けされず、耕作放棄されてしまう恐れもある。 このため、本地区では、県内初となる「農地中間管理機構関連農地整備事業」を活用し、農業者の費用負担や同意を求めない農地の大区画化等の基盤整備を実施することで、農業の生産性の向上を図るとともに、機構による担い手への農地の集積・集約化を加速し、豊かで競争力のある農業の実現を目指すものである。</p> <p>(事業内容)</p> <table border="0"> <tr> <td>受益面積</td> <td>50.2ha</td> </tr> <tr> <td>受益戸数</td> <td>90戸</td> </tr> <tr> <td>主要工事</td> <td>区画整理 50.2ha</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>846百万円(国62.5%, 県27.5%, 市町村10%, 地元0%)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>平成30年12月～令和8年度</td> </tr> </table>			受益面積	50.2ha	受益戸数	90戸	主要工事	区画整理 50.2ha	総事業費	846百万円(国62.5%, 県27.5%, 市町村10%, 地元0%)	工期	平成30年12月～令和8年度
受益面積	50.2ha												
受益戸数	90戸												
主要工事	区画整理 50.2ha												
総事業費	846百万円(国62.5%, 県27.5%, 市町村10%, 地元0%)												
工期	平成30年12月～令和8年度												
評価項目	<p>(事業の進捗状況) 令和3年度末までに区画整理9.1haが完成している。 令和4年度末の事業費進捗率は56.9%となる。</p>												
	<p>(関連事業の進捗状況) 国営総合農地防災事業「那賀川地区」 令和4年度末までに幹線水路18.0kmが完成見込み。</p>												
	<p>(社会経済情勢の変化) 農業従事者の高齢化や後継者の不足及び農産物価格の低迷、燃料や肥料の高騰等により、農業を取り巻く情勢は厳しさを増している。 このため、事業計画に沿って区画整理を進めることにより、農地中間管理機構を介し、担い手への農地集積及び集約による営農の大規模化及び効率化を図る必要がある。</p>												
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 特になし。</p>												
	<p>(費用対効果の分析) 1. 令和4年度末までに、第3揚水機場及び区画整理18.4haが完成予定。 2. 区画整理が完了した農地においては、担い手へ集積され営農の大規模化及び効率化が実現している。 総費用便益費 = 総便益 / 総費用 = 1.49</p>												
	<p>(受益農家、関係機関の意向) 地元受益者から、事業の早期完成を要望されている。</p>												
<p>(事業の実施方針) 継続して事業を実施する。</p>													